

私は今まで、高山植物のことについて調べてきました。そこで、調べてきた中で一番興味を持った植物は、ヒロツリバナとコバノフユイチゴです。ヒロツリバナとコバノフユイチゴは、どちらも秋に実になる植物です。私達が福島に行く時期も秋なので、裏磐梯に行って実際に見てみたいと思いました。見たい植物の他にも、裏磐梯に行って知りたいこともありました。

高山植物を調べていく中で、高山植物の生活区域を調べました。それぞれの生活区域は、全部で3つあります。高山帯、亜高山帯、山地帯の3つに分けられています。そこで、裏磐梯は、この3つの中の何帯になるのかを知りたかったです。

その他に、植物のことでも知りたいことがあります。それは、実のなる植物を調べている時、カンクボの特徴で、止血の効果や殺菌力があるというふうに書かれていました。その止血の効果や殺菌力の成分は何という成分なのか、それと、その成分を利用して、何かに使っているのかなども知りたいと思いました。

裏磐梯へ行って、色々な植物を見たり、知ることができたらいいなと思います。書いたこと以外にも、見たいものはいっぱいあります。今まで調べてきた色々な植物や、まだ知らない植物などが見れたらいいなと思いました。

そして、裏磐梯へ行って色々なことを学びました。1日目、私は、Cグループでテーマは、環境問題・自然を守るでした。私が見たかった植物は、ヒロツリバナとコバノフユイチゴですが、2つとも見ることはできませんでした。でも、ヒロツリバナではなく、ツリバナという植物を見ることができました。ツリバナもヒロツリバナと似たような植物だったので私は、満足です。コバノフユイチゴは見ることはできませんでした。他にいっぱい色々な植物を見ることができました。その中に、私が今まで高山植物のことについて調べてきた植物も見ることができました。

例えばツリフネソウなどを見ました。それに、ガイドブックにのっている危険な生物を見ることができました。まず、ヤマウルシ。この植物は、樹液または燃やした煙にふれると皮膚に炎症・かゆみをおこすそうです。これ以外にドクウツギ、ヒョウタンボクも見ました。この2種類の植物は、実に毒を持っているそうです。だから、山などへ行った時でも、むやみに植物にふれてはいけないと思いました。後、見た植物の中で一番印象的だった植物は、ヌスビトハギの実という植物です。この植物の実がとてかわいくて印象に残りました。実の形は、まるでサングラスのような形をしています。他にも、色々と植物を見たり、知ることができました。そして、植物のこと以外にも、環境問題のことについても知りました。今回、裏磐梯へ行って、人間がどのように自然を壊しているのか、実際に見てよくわかりました。

人間がどのように壊しているかという、それは自然に踏み入れることです。実際にそうなっている場所を見ました。そこは、普通に植物がはいている場所なのに、人間が何回

も踏み入れている場所だけが植物がはいていませんでした。人間が自然に踏み入れるだけで私達は、自然を破壊しているのです。でも、自然を観察するためには、どうしても自然に踏み入るしかありません。

もし、できるのであれば、なるべく地面をいためないような観察方法ができればいいのにと思いました。本当に私達は、環境問題について一人一人が考えていかないと、この環境問題はいつになっても解決しないと思います。私は今回、裏磐梯へ来て、自然について少し考えるようになりました。本当に来れて良かったと思います。ここで私は、色々な磐梯の植物や環境問題のことについて見たり知ることができました。これからは、ここで知ったことなど、人に教えていきたいと思います。そして、自然のことについて知って、これから先自然を守れるようになってほしいです。

そして、2日目。私はEグループでした。Eグループは、バスでホテルから一時間少々かけて移動しました。行先は、浄土平です。そこで私達は、登山をしました。このコーステーマは、高山植物を調べようです。登山をしながら、色々な植物などを見ることができました。一番印象的だった植物は、シラタマノキという植物です。このシラタマノキにはとても特徴的な所があります。シラタマノキの実は、誰もが知っているにおいがしました。



それは、よく保健室などに置いてあるシップのにおいです。でも、ただ実のにおいをかぐのではなく、実を押すときににおいがします。においをかいだ時はびっくりしました。本当にシップをかいでるような感じがしました。他にも、色々な植物を見ることができました。ガンコウラン、エゾオヤマリンドウなど他にも色々あります。

エゾオヤマリンドウ





ガンコウラ

植物以外に、鳥やテンのフン、きのこなども見ました。

木のいすに生えたきのこ



浄土平を登山していて、上へ登っていくたび、どんどん寒くなっていきました。山なので、気温の変化が激しいため、上の方はすごく寒かったです。でも、景色は良かったです。

でも、曇っているのがほとんどでした。たまに雲のすきまから景色を見たりしました。雲がなかったらもっときれいに見えるんだろうなと思いました。そして、登山をした後、下で質問などをしました。

私は、色々な質問をしました。まず、私は、「裏磐梯は、何帯になるんですか？」と質問しました。そしたら、裏磐梯は、山地帯ということがわかりました。ちなみに、浄土平も教えてくれて、浄土平は高山帯ということがわかりました。その他、カンクボという実には、止血の効果や殺菌力などがあります。

その成分は、消毒液などに使われているのか聞いてみたところ、使われていることがわかりました。他の人の質問の答えを聞いていて色々なことを知ることができました。わかったことは、高山植物は約300種類ある、磐梯クワガタは磐梯山にしかはえていない、



ヤエハクサンシャクナゲは浄土平らへんにしかない、高山植物は厳しい環境の中で育っているからきれいに見えるなど、いっぱいいろんなことを知ることができました。

二階堂さんから色々なことを教えてもらい、おかげで今まで勉強してきて、わからなかったことなどが、ここへ来て理解することができて、とても満足しています。また、裏磐梯や浄土平にいきたいと思いました。

今回、林間学校で裏磐梯へ行っても色々なことを学ぶことができました。例えば、ウォークラリー。ウォークラリーは、班で行動し、問題を解いていくので、どうしても協力が必要になりました。私達は、自然と班のみんなと協力し合っていました。そして、私達の班は、リタイヤすることなく、最後まで頑張りゴールにたどり着くことができました。ウォークラリーをやっていて、とても楽しかったです。

でも、こうやって楽しむことができたのも、みんなで協力し合えたから、こんな風に楽しむことができたのだと思います。でも、たまにわからない問題もありましたが、そこは、みんなで考えて解きました。それに、私達の班は1回しか休憩していなくて、距離も長く、とてもつかれました。

私は、林間学校で一番良かったのは、ウォークラリーです。ちゃんと協力することができたし、ゴールもでき、楽しく行うことができたからです。ウォークラリー以外にも協力することはありました。それは、キャンドルファイヤーです。キャンドルファイヤーもとても楽しかったです。これもみんなが協力してやることができたから楽しいと感じられたのだと思います。

それに、キャンドルファイヤーでやるクラスごとの出し物で、2組は最初、全員がなかなかまとまらなくて、当日になってやっと決まり、何とか本番を迎えることができました。練習も少ししかやっていないのに、本番で成功することができました。きっと、みんなの心が1つになって、出し物を最後までやり通し、成功することができたのだと思います。キャンドルファイヤーも、少しできていなかったところもありましたが、何事もなく終わりました。こういうふうなことができたのも一人一人が協力し合えたおかげだと私は思います。私は、今回林間で、協力をする事の大切さを学びました。このこと以外にも、1日目、2日目で体験して学んだことはたくさんあります。

自然体験学習で学んだことは、これからの生活に役立てていこうと思います。そして、シート5を読んで、福島が今、どれだけ大変で苦労していることをくわしく知りました。私たちは今、普通に今までのように毎日学校に通っています。生活もいつものように暮かえています。でも、被災地の人達は、学校に行けていません。生活も、前のように生活を暮かえられていない人もいます。その分、私達はとても幸せな生活をしています。だから、今でも頑張っている人たちの分も毎日大切にして、復興を目指して応援していきたいと思っています。

私は今回、これだけのことがわかりました。これから先、私が学んだことをいろんな人に教え、伝えていきたいと思っています。